

福祉サービス第三者評価結果報告書（平成 26 年度）

平成 27 年 3 月 30 日

公益社団法人 京都市児童館学童連盟 殿

〒150-0002  
 所在地 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会ビル 7F  
 評価機関名 一般財団法人 児童健全育成推進財団  
 （東京都福祉サービス評価第三者評価機関／機構 12-215）  
 電話番号 03-3486-5141  
 代表者氏名 理事長 鈴木 一光 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名	評価者氏名		所属
	①	依田 秀任	児童健全育成推進財団事務局長
②	阿南 健太郎	児童健全育成推進財団広報部・業務部課長 評価者番号 H1201051	
福祉サービス種別	児童館		
評価対象施設名称	京都市今熊野児童館		
施設連絡先	所在地	〒605-0925 京都市東山区今熊野日吉町 48-34	
	電話番号	075-561-6187	
施設代表者氏名	館長 石東 悦子		
契約日	平成 26 年 7 月 22 日		
自己評価票回答期間①	平成 26 年 8 月 1 日～8 月 30 日		事務局回答項目
自己評価票回答期間②	平成 26 年 8 月 1 日～9 月 30 日		館長回答項目
職員調査票回答期間	平成 26 年 8 月 1 日～8 月 30 日		職員回答項目
訪問調査日①	平成 26 年 9 月 16 日		事務局回答項目
訪問調査日②	平成 26 年 11 月 4 日		館長回答項目

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受領し、公表に同意しました。

平成 27 年 3 月 日

事業者代表者氏名

印

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
		○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
		○非該当
	カテゴリー1の講評	
	法人のホームページで児童館について詳しく紹介し、関心層への利用促進を図っています 法人本部が児童館に関する情報を市民向けにホームページや機関誌で紹介しています。特にホームページでは市内児童館全館の行事、おたよりなどの情報や各館が目指していることなどを掲載し、関心層への利用促進を図っています。法人の運営館には、事務局スタッフが毎月巡回指導を行い、現場の様子を把握しながら館長と連携をとりつつ運営しています。	
	カテゴリー2	
2	経営における社会的責任	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	
	評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している
		○非該当
	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
		○非該当
	評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
		○非該当
	●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
		○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目1  
事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
地域の関係機関との連携を図っている

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「コンプライアンス・業務マニュアル」を遵守し透明性の高い運営をおこなっています  
京都市児童館全体の「コンプライアンス・業務マニュアル」を各館に配布するとともに、職員の理解が深まるよう、遵守すべき法や倫理に関する研修会を開催しています。さらに区の子育て支援ネットワーク施設として参画し、地域の子どもに関する情報交換を行ったり事業協力をしながら、地域課題の解決に取り組んでいます。今後専門性をいかした地域貢献が期待されています。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1  
利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
カテゴリー3の講評		
<b>運営委員会での意見交換を参考に運営をおこなっています</b> 館内に苦情受付窓口に関する情報を掲示しています。法人本部で作成された苦情解決マニュアルが配布され、この内容に従って対応するように職員に指導しています。行事やクラブ活動のアンケートや保護者懇談会などで利用者の意見や要望を集約するほか、児童館運営協力会からの意見を参考にしながらサービスの向上に取り組んでいます。行政や法人主催の研修会だけでなく全国規模の研修会にも職員を派遣し、全国的な動向についても情報収集を行っています。		
カテゴリー4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリー1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目2</b> 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
<b>評価項目3</b> 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

カテゴリ4の講評	
<p>各館の取り組み状況を法人本部で把握しながら計画をすすめています</p> <p>京都市児童館活動指針や業務マニュアルに基づいて、前年度の利用状況をもとに各館の年間計画を策定し、理事会、総会で承認を得ています。計画の実行状況については各館から法人本部に月報が提出される仕組みになっています。京都市の意向により、学童クラブ待機児童が出ないよう、利用希望者はすべて受け入れる方針で全館が取り組んでいます。利用者の安全を守るため、法人発行の「事故・災害等マニュアル」や市が発行する「子どもたちを感染から守るために」を活用し、予防対策や非常時の対応策を整備しています。</p>	
カテゴリ5	
5	職員と組織の能力向上
サブカテゴリ1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている
	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)	
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	
評価	標準項目
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評	
<p>職員一人ひとりの研修会参加状況を把握するとともに参加促進をおこなっています</p> <p>京都市児童館活動指針に沿った人材を確保するため、採用時には人事制度に関する方針を提示しています。職員の能力向上のため、個人別の研修履修表を作成し、法人本部で一括管理しています。未履修の科目がある場合には、事務局もしくは各館長から指名し、職員体制を調整し参加促進をしています。参加者はレポートを事務局に提出し、事務局から各館へ研修報告書を配布することで、全職員が情報共有できるようにしています。全国社会福祉協議会や市社会福祉協議会の表彰制度を活用し、職員のやる気向上につなげています。</p>	

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>京都市児童館活動指針に基づき、取り組みの標準化を図っています</p> <p>行政と連携し、京都市児童館活動指針を策定しています。指針に基づいて、会長、副会長、事務局の三役会議→理事会→事務局会議が行われ、決定事項は月1回の館長会議で報告されます。この内容をもとに法人が運営する全8館が日々の業務にあたり、さらに事務局スタッフ(主任児童厚生員等)が各館に月1回巡回指導を行っています。事務局スタッフと館長や職員が改善点や事業成果について意見交換を行いながらサービスの平準化を図っています。</p>		
カテゴリー7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリー1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている <sup>2</sup>	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評		
<p>個人情報保護に関する職員の意識を高め、取扱いの徹底を図っています</p> <p>個人情報など重要事項が保存されているパソコンにはパスワードを設定し、館長が管理しています。収集した情報については、担当職員が必要ときに活用できるように事業ごとに管理されています。特に個人情報については、「個人情報保護事務の手引き」に基づいて、全職員が管理の徹底を図っています。また児童館で活動する講師やボランティアには館長から口頭での説明もしくは文書で理解を求めるように徹底しています。</p>		

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	○あり ○なし	5. 【放課後学童クラブ併設の場合】事業所の放課後学童クラブ利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている <span style="float: right;">● 非該当</span>
サブカテゴリ-1の講評		
利用層拡大に向けた情報提供を積極的に行っています 近隣小学校3校が統合したことで、児童館ニュースをこれまでの対象エリア外の児童・保護者に対して配付することが可能になり、新たな利用者開拓につながっています。また、行政や関係機関に直接顔を出し、ニュース・ちらしを手渡しており、情報伝達だけではなく、ネットワーク形成にも取り組んでいます。ちらし類はターゲットによる色分けなどの工夫が見られます。		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	2. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	3. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	2. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている <span style="float: right;">○ 非該当</span>
	●あり ○なし	3. 【放課後学童クラブ併設の場合】放課後学童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている <span style="float: right;">○ 非該当</span>
サブカテゴリ-2の講評		
学童クラブ利用開始時に丁寧な情報提供を行っています 学童クラブ利用希望者に対しては、保護者説明会を開催しています。資料に基づく説明に合わせて、職員が編集した「学童クラブの1年」と題したオリジナル動画を上映し、視覚的に理解を促進する取り組みを行っています。これは学童クラブの様子を見る機会が少ない保護者に好評を得ています。利用開始時には館オリジナルの調査票、健康カルテなどの記入を依頼し、児童や家庭の理解、情報共有を行っています。		
サブカテゴリ-3		

<b>3 個別状況に応じた計画策定・記録</b>		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー3の講評</b>		
<b>利用者の意向を取り入れた運営を行っています</b> 学童クラブでは、年3回の保護者会や年に1回の懇親会を開催し、年間予定や計画に関して相談し、意見を聞く機会を設定しています。これにより、保護者・児童の希望を取り入れるようにしています。また、学童クラブ登録児にアンケートを実施しています。運営や行事、生活内容に関する意見や今後の希望を聞いています。自由来館の児童についてもアンケート実施を今後検討しています。評価項目3-2については児童館では「なし」と回答されましたが、市への報告用紙に記入を確認しましたので、「あり」とします。		

### Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

<b>サブカテゴリー4</b>		
<b>サービスの実施項目</b>		
<b>1 評価項目1</b> 遊びの環境整備を行っている		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 遊ぶ際に守るべき事項(きまり)が、利用者に理解できるように決められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している	<input type="radio"/> 非該当

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目1の講評</b>		
<b>環境整備がなされており、児童が気軽に利用できるようにしています</b> 利用児童の年齢層に応じて、自由に使うことができる遊具を配置するなどの様子が見られました。また、市内の児童館の中においては大きなグラウンドを有しており、バスケットボールやフットサルのゴールを準備し、多様な年代層の遊びニーズに応える工夫が見られます。小学生の登録制クラブ活動(フットサル、卓球、手作りなど)はそれぞれ、1～6年生の児童が興味関心に合わせて参加していて、異年齢児童の交流が促進されています。		
<b>2 評価項目2</b> 乳幼児と保護者への対応を行っている		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2の講評</b>		
<b>乳幼児親子向けのプログラムが充実しています</b> 乳児クラブ(ぴっぴ)、幼児クラブ(こっこ)が週に1度行われています。乳児は半期ごと、幼児は通年で登録制としており、発達に応じた取り組みが行われています。また2つのクラブ活動の間の日には、「あつまれぴっぴこっこ」というノンプログラム型の集いを開催しています。また月に1回はプログラムを設定した「ほっこり子育て広場」、毎週開催される母親クラブの自主的な活動「たんぼぼキッズ」など、乳幼児が集える場が豊富にあります。		
<b>3 評価項目3</b> 小学生への対応を行っている		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3の講評</b>		
<b>個別的・集団的な支援を丁寧に行っています</b> 小学校の統合により、自由来館利用の児童数が減少傾向にあります。その中において、土曜日などの学校休業日に自由来館児童と学童クラブ利用児が交流できるような行事を設定しています。また登録制クラブ活動でも同様ですが、異年齢児の交流を前提にし、集団の中での成長を目指した支援が行われています。また障がいのある児童にも配慮し、共にできる運動の機会などを設定し、個別的な支援にも取り組んでいます。		
<b>4 評価項目4</b> 中高生への対応を行っている		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常的に中高生の利用がある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中高生が主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評		
<p>学校との連携により中高生への支援を積極的に行っています</p> <p>17時以降は中高生が卓球台やグラウンドを優先的に利用することができます。学校帰りなどに中学生が寄る場面が増えています。学童クラブのOBが友人を誘う様子もあり、今後の利用者拡大が期待されます。また、中高生と赤ちゃんのふれあい事業をおこなっています。学校の授業時間に組み込んでもらうことにより、学校との連携がスムーズになっています。また、職業体験なども積極的に受け入れています。</p>		
5 評価項目5 利用者からの相談への対応を行っている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者からの相談への対応が自然な形で行われている	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>日常的に相談に対応する体制をとっています</p> <p>日常的に来館する保護者や学童クラブ利用保護者などから相談を受ける機会が多くあります。話しやすい雰囲気づくり、問題を抱える保護者に寄り添うスタンスづくりなどを行うよう職員間で心がけています。また関係機関(保健センター、地域子育て支援ステーション指定施設など)との協力体制が構築されています。今後は、利用者側に相談機能、支援体制についての認知を上げていく工夫が期待されています。</p>		
6 評価項目6 障害児への対応を行っている		
評価	標準こうも	
●あり ○なし	1. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>介助ボランティアと連携して支援を行っています</p> <p>学童クラブ利用障がい児のための介助者派遣事業を活用し、身体障がいのある児童を受け入れています。トイレ等の改修工事を行い、利用しやすい環境づくりを行っています。介助ボランティアには近隣の大学生や主婦が参加しており、支援を必要としている子どもとボランティアをつなぐ役割や、ボランティアの記録から支援の方向性を探る努力をしています。</p>		
7 評価項目7 地域の子育て環境づくりを行っている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>地域住民による子ども支援活動を支えています</p> <p>冬季間(11~2月)の毎日、児童館から自宅の間の道路上に「見守り隊」という地域住民による送りの協力があります。これは児童館が安全安心の観点から、地域の民生・児童委員／主任児童委員に呼びかけ始まった活動です。現在では、民生委員側でシフトを組んで、交代で対応していただいています。この活動を支援し続けることにより、民生委員との関係性が深まっています。</p>		
8 評価項目8 広報活動が行われている		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 広報活動が適切に行われている	○非該当
●あり ○なし	2. 児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている	○非該当

評価項目8の講評		
<p>多様な広報が展開されています。</p> <p>児童館ニュースは毎月発行されており、小学校への配付に加え、地域の回覧も行われています。また、地域の掲示板への案内掲示、ホームページの更新など広く関心層への周知広報に努めています。また、近隣保育園や地域子育て支援ステーション指定施設とのニュース交換により、関連施設の情報収集も行っています。</p>		
サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当
<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>子どもの権利を守る工夫があります</p> <p>集団活動のなかにおける個人の存在を大事に考えています。個人に注意が必要な場合においても、利用児童の集団全体に理解を促すためにも名前を伏せて指導することや、学童クラブの班活動などの場面でも個人を尊重した支援を実施しています。</p>		
サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	
<p>評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
<p>評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ6の講評		
<p>業務の一定水準を保つための努力をしています</p> <p>事業展開が拡大しており、また職員の質の担保をはかるため、積極的に研修等に参加させています。その一方で職員会議の日程設定に苦慮しています。職員の他施設(幼稚園等)での勤務経験やスキルを見極めつつ、効果的な運営ができるようマネジメントしています。日頃からの利用者や地域住民との関係構築を目指し、OJTを通じて後継者育成にも取り組んでいます。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	自然に恵まれた環境の中での生活支援が行われています
	内容	京都市内の他の児童館と比べても今熊野児童館の敷地は広く、また植栽も多く、自然豊かなロケーションにあります。これにより、子どもたちがのびのびと外遊び、スポーツなどに取り組むことができています。また、それを支える前提として、地域住民との関係が良好であり続けるよう、職員・館長が努力されていることが見受けられます。
2	タイトル	職員研修に力を入れています
	内容	事業数が多い中でも研修には積極的に派遣しています。京都市児童家庭課や運営法人や全市の児童館を対象として実施している研修に参加しています。中堅レベル職員については、市内児童館で行われている交換研修(一定期間職員を入れ替えて行われる)にも派遣し、更なるレベルアップを目指しています。研修内容は職員会議を中心にして伝達研修の時間を設け、他の職員にも伝えていきます。
3	タイトル	地域の子育て環境づくりに力を入れています
	内容	地域子育て支援ステーション指定施設によるステーション会議では地域の乳幼児の保護者ニーズを集めるアンケートを行っています。児童館としても積極的に関わり、多くのニーズと事業ヒントを得ています。また、見守り隊の活動や、学校との連携による「赤ちゃんとの交流事業」などの展開もあり、地域の子育て環境づくりに児童館が役割を果たしています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	定期的な会議を設定することが望めます
	内容	勤務の都合や業務量の増大により、概ね2～3週間に1度の職員会議が開催されています。不定期あるいは日常的な職員間コミュニケーションで不足を補っていますが、計画的な業務執行を目指すために週に1度の定例会議・ブリーフィングなどを実施することが望めます。これにより情報伝達の漏れなどが防げると考えます。
2	タイトル	アンケート等の意向調査結果を公表することが期待されます
	内容	学童クラブ利用児童のアンケート結果や行事後の職員間による評価について情報が蓄積されています。利用児童のアンケート結果は館内掲示などで公表することにより、利用児童や保護者に対して子どもの意見を尊重する児童館であることを明確にすることができます。
3	タイトル	利用者拡大のための取り組みが期待されます
	内容	小学校統合により、従来利用していた児童の帰宅が遅くなり、学童クラブ利用児童も含めて、滞在時間が減少しています。保護者による送迎などで遠方からも登録制クラブに参加する児童も出てきていることから、児童館が提供する行事には少なからず関心層がいます。これを積極的な来館につなげるような仕掛けづくりが求められます。また、中高生利用者拡大の企画が求められます。合わせて、利用していない層のニーズ把握も継続して行いたいところです。